


気胸で入院された方

様へ (ID: _____) 担当医 _____

経過	入院1日目	入院2日目	入院3日目	入院4日目～管が抜けるまで	入院8日目 (退院予定)
月/日	(/)	(/)	(/)	(/ ~ /)	(/)
達成目標	1.不安や疑問を表出できる 2.治療内容が分かる		3.痛みのコントロールが出来る 4.息苦しさが軽減される		5.胸の管が抜けて退院できる
治療処置	<ul style="list-style-type: none"> ●胸のレントゲン写真をみて、胸に管を入れることがあります 	<ul style="list-style-type: none"> ●体温・脈拍・呼吸・血圧の測定を毎日行います ●胸に管が入っています 抜けないよう注意して下さい ●回診で胸の管の挿入部の確認をします 		<ul style="list-style-type: none"> ●空気洩れの有無を確認し、管を抜く準備をします ●翌朝レントゲン結果により胸の管を抜きます 	<ul style="list-style-type: none"> ●管を抜いた傷口を消毒し、保護テープを貼ります 
点滴	●基本的に点滴はありません				
内服薬	●痛みが強いつきは、我慢せずに声をかけて下さい。痛み止めをご用意できます				
検査	●必要に応じて採血、検尿、レントゲン、CT、心電図の検査があります	●胸部レントゲンを撮影し経過をみていきます。			
食事	●食事の制限はありません  				
活動	●院内自由 ●ベッドギャジアップは呼吸改善のために行います				
清潔	●胸の管が入っている時は下半身のみのシャワーとなります				●胸の管が抜けた翌日に全身シャワー浴ができます 
説明	●医師より病状の説明があります			●空気洩れが止まらなければ手術に移行する場合があります	●主治医から退院の許可がおり退院日が決まります。退院日に外来の予約票と退院時の処方薬をお渡しします。
備考					●胸の管を抜去した翌日、レントゲンで肺の縮まりがない時は退院が可能です

入院期間については現時点で予想されるものです。

担当看護師: _____

患者・家族: _____